

平成24年度

行政評価(施策・事業)の結果

施 策

政策を実現するための個々の方策を示すもので、総合計画・戦略計画に定められた40の施策があります。

事 業

施策を実現するための具体的な手段で、今年度は320の事業が評価対象になっています。

行政評価とは、市で行っている行政活動の成果について、数値などを用いた客観的に評価するシステムです。本市では施 策評価と事業評価を実施しています。施 策評価では、1次評価中間報告へのパブリックコメントや石狩市行政評価委員会による外部評価を参考とし、市長がはじめとする府内組織が最終評価を行いました。
*石狩市行政評価委員会：評価の客觀性・透明性を確保するため、市職員以外の第三者で組織した評価組織

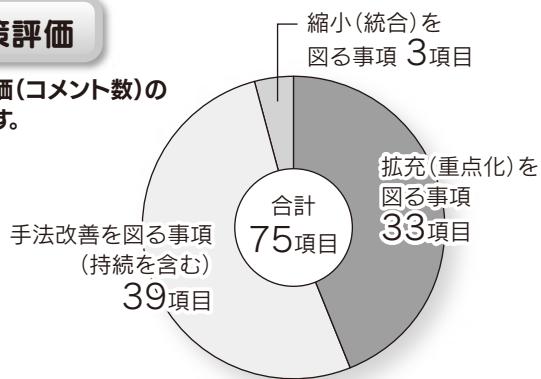
行政評価(施策・事業)中間報告へのパブリックコメント結果

平成24年6月18日(月)～7月17日(火)までに行った行政評価の中間報告への意見募集には9件のご意見をいただきました。その要旨と反映状況の一部をご紹介します。

事業名	意見の要旨	反映状況
●石狩市農業総合支援センター運営事業 ●農業担い手支援事業	●問題点を洗い出し、有効な対策を講じて後継者等を育成・確保する必要がある。	【参考】 ・新たな国の制度を周知し、新規就農者の確保を図る。 ・「新農業人フェア」に参加し、石狩市農業をPRしながら就農相談を進める。
●地産地消推進事業	●地場農産物の宅配は、地産地消活動を後退させないためにも何らかの方法で継続推進する必要がある。	【参考】 ・今年度は石狩市農協で1人雇用し、法人を中心に配達事業を展開している。市民向けサービス(移動販売)についても早急に再開できるよう準備を進めている。
●風力発電事業	●風力発電については、バードストライクなどの自然環境への影響が心配である。 ●つくられた電気を有効に活用しなければCO ₂ の削減にはならない。	【参考】 ・自然環境への影響については、当然、十分配慮する必要がある。その一方で、自然エネルギーのポテンシャルが高い石狩市の役割も忘れてはならないものと認識している。風力発電事業の立地にあたっては、詳細な視点もあるが、大局的な視点をもって考えていくことが、その方向性を見定める上で重要である。
●厚田地域自治区振興業務	●地域協議会の活動が地域住民に浸透していない。 ●具体的な対策を立て早急に住民の関心および参加を高める必要がある。	【参考】 ・これまでの活動を振り返り、より多くの区民に発信するための準備が進められている。 ・住民自らが主体的に考え、取り組んでいくという姿勢を尊重しながら、地域協議会と地域が一体となって、地域住民の関心や参加を導き出せるよう努力する。
●住民自治推進事業	●全般に市民の意見収集に努める必要がある。	【実施済】 ・「石狩市行政活動への市民参加の推進に関する条例(市民の声を活かす条例)」で定めるように、市民の意見を積極的に把握することは重要であると認識しており、今後も貴重な意見を市政に反映するよう努めていく。

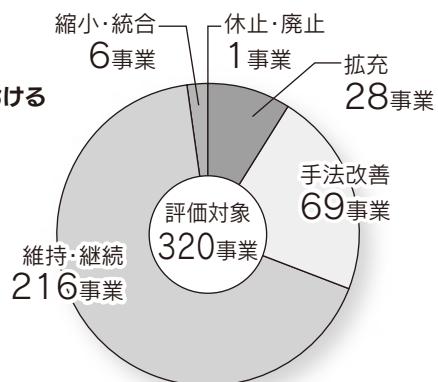
施策評価

最終評価(コメント数)の状況です。



事業評価

事業評価(2次評価)における「今後の方向性」



以下は、今年度の最終評価結果を踏まえて、次年度予算編成をはじめとした今後の行政活動に反映しようと検討しているものの一部です。

安全・安心・快適なまち	道路網の整備
	○橋梁長寿命化計画の策定にあたっては、点検・調査結果を慎重に検証し、将来展望を見据えた計画策定に努める。【拡充(重点化)】
	上・下水道の整備
健康でしあわせに暮らすまち	○給・配水設備の維持管理にあたっては、地域性や費用対効果を見極めた効果的な手法により実施する。【拡充(重点化)】
	消費者対策の推進
	○消費者対策業務における量目試買調査や価格調査の廃止を検討する。【縮小(統合)】
元気で活力あるまち	保健・医療の充実
	○がん検診受診率の向上を図るため、検診ツアーの企画など、新たなモデル事業を検討する。【拡充(重点化)】
	○救急医療における相談機能を充実するため、救急安心センターの開設を推進する。【拡充(重点化)】
豊かな自然を守り心豊かに学びいきいきと活動するまち	○検診業務を集約し、保健施策の充実を図るため、市保健担当部門の組織の見直しを行う。【手法改善(持続)】
	高齢者福祉の充実
	○地域包括支援センター業務は、可能な部分から外部委託を検討し、地域密着型の福祉施策の推進体制を強化する。【手法改善(持続)】
豊かな自然を守り心豊かに学びいきいきと活動するまち	○サービス利用者が限られている介護予防事業については、廃止に向けた代替案の検討を進める。【縮小(統合)】
	子育て支援の充実
	○ファミリー・サポート・センターの機能を補うメニューの充実を検討する。【拡充(重点化)】
農林業の振興	○放課後児童会(クラブ)における利用ニーズに対応するため、樽川浄水場の跡利用による新クラブの開設を進める。【拡充(重点化)】
	○多様化する保育ニーズへの対応や認可保育所入所待機児童数ゼロを持続するため、各種検証を行う。【手法改善(持続)】
	農林業の振興
水産業の振興	○地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す6次産業化の取り組みを積極的に推進する。【拡充(重点化)】
	石狩湾新港地域の振興
	○関係部局の連携により、石狩湾新港地域を中心とする交通戦略の検証を行い、操業企業への支援強化を検討する。【拡充(重点化)】
雇用・労働者対策の推進	○関係機関による道産品輸出拡大の取り組みに連動したポートセールスの強化を図る。【手法改善(持続)】
	環境施策の推進
	○高校生を対象とする就業サポート事業について、今年度の実施状況と成果を踏まえた上で重点化を検討する。【拡充(重点化)】
生涯学習の推進	環境施策の推進
	○公共施設におけるLED灯具への積極的な転換を図るため、具体的な整備に向けた取り組みを進める。【拡充(重点化)】
	学校教育の充実
国内・国際交流の推進	○ICT教育の推進にあたっては、教育情報化推進検討委員会による意見を踏まえ、市全体のIT戦略推進会議によって事業効果や有効性を見極めた上で取り進める。【拡充(重点化)】
	○いじめ問題をはじめとする諸課題に直面する学校に対し、有効な支援体制を早期に検討して整備する。【拡充(重点化)】
	○保健福祉関係部署との一層の連携を図るため、教育支援センターの事務所のあり方について検討する。【拡充(重点化)】
国内・国際交流の推進	生涯学習の推進
	○輪島市等の国内交流については、産業・経済・教育・文化など各分野において、相互の発展に寄与できるよう積極的な交流を図る。【拡充(重点化)】
	○国際交流事業の推進にあたっては、国際交流協会が実施する各種事業支援のほか、小中学校や関係団体との連携を推進するなど、市も積極的に関わりながら事業を展開していく。【手法改善(持続)】